山形県埋蔵文化財調査報告書第２０集

分布調査報告書（７）

広域営農団地農道整備事業関係遺跡

――― 北村山地区 ―――

１９７９

山形県教育委員会

分布調査報告書

（7）

広域営農団地農道整備事業関係遺跡

——北 村 山 地 区——

昭和54年 3 月

序

本報告書は、昭和53年度に実施した、広域営農団地農道整備事業・北村山地区に関する計画路線内の、埋蔵文化財包蔵地分布調査結果をまとめたものであります。

計画路線は、東根市野田から尾花沢市六沢まで至る総延長51.4kmの幹線道路であります。このたび、その路線に点在する埋蔵文化財包蔵地の所在と範囲を確認するために、路線を中心に巾2kmにわたって分布調査を実施いたしました。

広域営農団地農道整備事業は、地区中央部を最上川が流れ、これに沿って道路が発達する北村山地区の、各営農団地相互の連繋を高め、ほ場配置や既設道路並びに農業公共施設等と接続させることにより、生産から流通までの一貫した組織化を図り、農業生産性の向上を期するものであります。

近年これらの大規模な開発事業と埋蔵文化財とのかかわりは増加の傾向にあり、県民の福祉向上を目的とする諸開発事業と、幾千年を経た先人の生活跡である埋蔵文化財の保護との間には、多くの問題をかかえており、県教育委員会においてはこの間の調整に鋭意努力を続けております。

本報告書が、埋蔵文化財に対する理解を高める一助になれば幸いと存じます。本調査に御協力いただいた関係各位並びに各市町教育委員会に心から感謝を申し上げます。

昭和54年3月

山形県教育委員会

教育長　吉村敏夫

例　　言

1　本報告書は、山形県教育委員会が昭和53年度に実施した、広域営農団地農道整備事業北村山地区関係遺跡の分布調査報告書である。

2　調査は、山形県教育庁文化課、佐々木洋治・名和達朗・阿部明彦の3名が担当した。

3　本報告書の執筆および編集は、名和達朗が担当した。

4　遺跡の分布図は5千分の1の地形図を用いた。

5　遺跡の範囲は、遺物の表面採集から確認できた地域を図示した。範囲の明らかでない遺跡については、便宜的に円で示してある。

目　　次

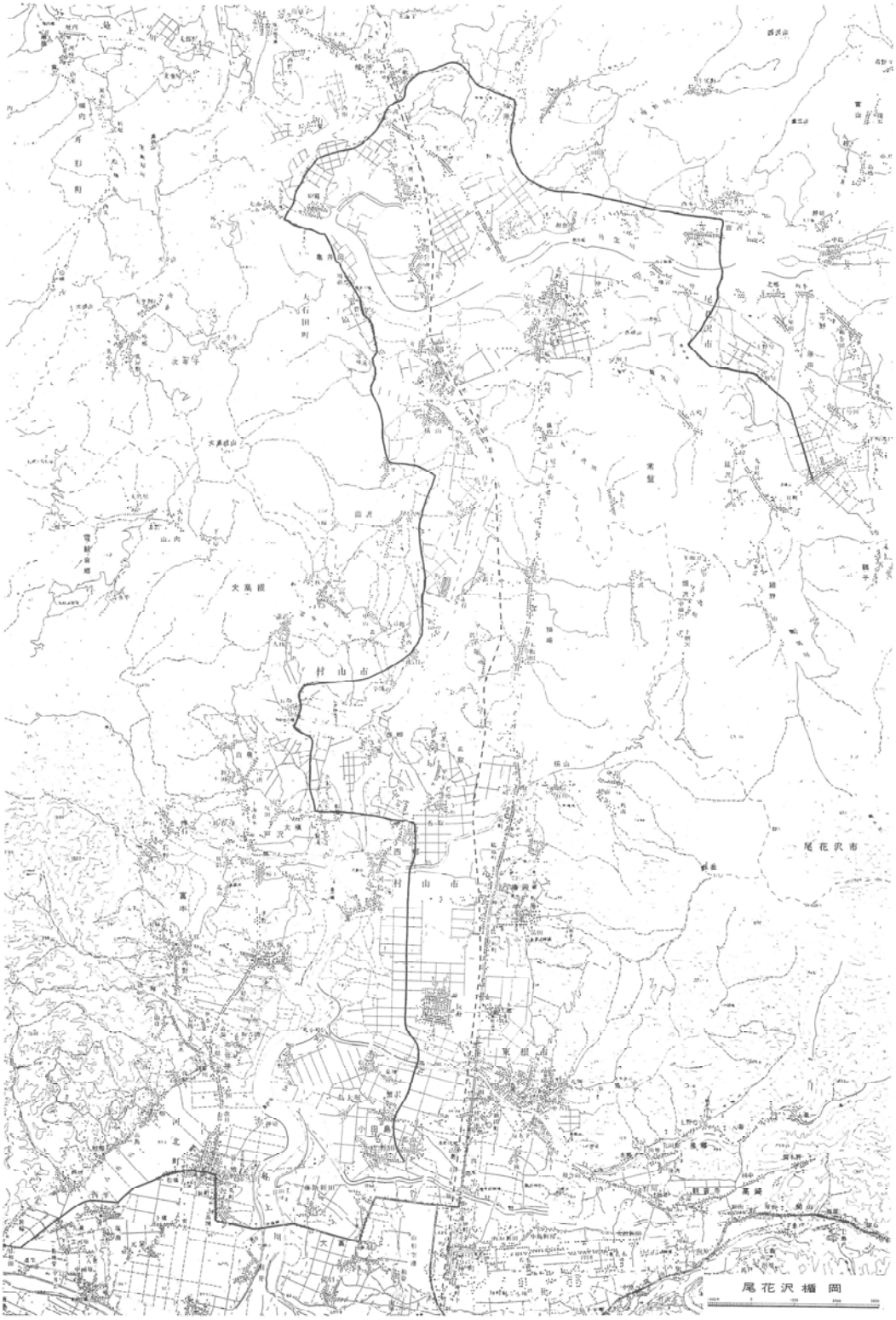
I　調査の経違
1　調査に至る経過 ……1
2　調査の経過 ……1
II　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡地名表　2
III　まとめ …… 20
IV　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図
…… 21

挿図目次

第1図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区計画路線図
第2図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図（1）……22
第3図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図（2）……23
第4図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図（3）……24
第5図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図（4）……25
第6図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図（5）……26
第7図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図（6）……27
第8図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図（7）……28
第9図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図（8）……29
第10図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図（9）……30
第11図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図（10）……31
第12図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図（11）……32

図版目次

図版 1　後原遺跡（板碑）　後原遺跡（墳墓）
図版 2　後原遺跡出土遺物（1）　後原遺跡出土遺物（2）
図版 3　西原Ａ遺跡出土遺物　西原Ｂ遺跡出土遺物　草伊賀Ｂ遺跡出土遺物
図版 4　西原Ｃ遺跡出土遺物（1）　西原Ｃ遺跡出土遺物（2）
図版 5　川口Ａ遺跡出土物　棚子遺跡出土遺物
図版 6　鹿の子沢Ａ遺跡近景　鹿の子沢Ａ遺跡出土遺物
図版 7　里向山Ｃ遺跡出土遺物　西山Ｃ遺跡出土遺物　早房Ｂ遺跡出土遺物
図版 8　早房Ｃ遺跡出土遺物（1）　早房Ｃ遺跡出土遺物（2）
図版 9　早房Ｄ遺跡出土遺物（1）　早房Ｄ遺跡出土遺物（2）
図版 10　小滝Ａ遺跡出土遺物　小滝Ｂ遺跡出土遺物
図版 11　境ノ目遺跡出土遺物　新山寺Ａ遺跡出土遺物
図版 12　長峯山Ｂ遺跡近景　長峯山Ｂ遺跡出土遺物
図版 13　羽根沢Ｂ遺跡遠景　羽根沢Ｂ遺跡出土遺物
図版 14　羽根沢Ａ遺跡遠景　新山寺Ｂ遺跡出土遺物　羽根沢Ａ遺跡出土遺物
図版 15　楯の鼻楯跡遠景　楯の鼻楯跡近景
図版 16　楯の鼻楯跡土塁　楯の鼻楯跡出土遺物
図版 17　駒籠Ｂ遺跡出土遺物（1）　駒籠Ｂ遺跡出土遺物（2）
図版 18　森岡北遺跡遠景　森岡北遺跡近景
図版 19　野尻Ａ遺跡出土遺物　小林遺跡出土遺物　駒籠Ａ遺跡出土遺物　駒籠Ｃ遺跡出土遺物　森岡北遺跡出土遺物
図版 20　野尻楯遠景　野尻楯出土遺物
図版 21　安久戸平遺跡遠景　安久戸平遺跡近景
図版 22　安久戸平遺跡出土遺物（1）　安久戸平遺跡出土遺物（2）
図版 23　西原遺跡遠景　西原遺跡空濠
図版 24　原遺跡（土壇）　原遺跡（板碑）



第１図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区計画路線図

Ⅰ　調査の経違

1　調査に至る経過

広域営農団地農道整備事業・北村山地区は、東根市野田を起点として（農林省所管は、村山市河島元杉島が起点。）尾花沢市六沢まで至る総延長51.4 kmにわたる幹線道路である。このうち16.8 kmは、建設省施行区間である。

県試案ルートによれば、道路は、全巾員が8 mの広がりをもち、東根市野田から村山市河島、西郷、大鎮、小滝、大石田町田沢、黒滝、駒籠、尾花沢市芦沢、和合、安久戸付近を経て、同市六沢に至る(第1図)。経過市町は、東根市、村山市、大石田町、尾花沢市の三市一町である。

事業費総額66億円(農林省所管分)、工事着手予定は昭和53年9月、完了予定は昭和62年3月である。

その他、付帯工事として村山市共栄地区、大石田町黒滝地区の最上川に共栄橋、黒滝橋（仮称）の橋梁が、新設される計画である。

昭和52年9月14日付で北村山地方事務所長から山形県教育長あてに「広域農道計画の協議について」の問い合せがあり、これを受けて同教育長から同年11月10日付で「北村山地区広域営農団地農道整備事業に伴う埋蔵文化財の取り扱いについて」の協議事項が出され、両者の協議に基いて昭和53年度に分布調査を実施した。

2　調査の経過（第1図）

分布調査は、山形県教育委員会が主体となり、昭和53年9月18日～10月5日までの実質12日間にわたって実施した。区間は東根市野田から尾花沢市六沢までの51.4 kmで、調査範囲は推定路線を中心として両側で2 kmを対象としている。

調査にあたっては、5000分の1の図面を使用し、できるだけ遺跡の範囲を把握するように努めたが、範囲の不明な遺跡については、便宜的に円で示してある。これは、遺跡の地目が水田や山林などになっていたり、遺物の散布が希薄でその範囲がつかめない場合などである。

調査の結果、対象地域に88の遺跡（埋蔵文化財包蔵地）が発見され、そのうち31の遺跡が今回新規に確認されたものである。遺跡は、丘陵先端部、河岸段丘縁辺部、水田地帯の微高地などに多く分布し、時期的には縄文時代早期から中世の室町時代まで認められ、地域では、村山市36ヶ所、尾花沢市20ヶ所、大石田町17ヶ所、東根市15ヶ所の遺跡数である。

II 広域営農団地農道整備事業

遺跡番号	種別	遺跡名	所在地	時期	地目	立地
1		野田蕨手刀出土地 I	東根市野田802	奈良	宅地	平地(95m)
2		野田蕨手刀出土地 II	東根市野田82	奈良	宅地	平地(90m)
3	集落跡	野田中島	東根市野田字中島255～257	縄文 平安	畑	平地(90m)
4	集落跡	郡山東	東根市郡山	平安	宅地 畑	平地(98m)
5	集落跡	郡山	東根市郡山字クネカラミ317、トヤサキ278・279・300～305	縄文 平安	水田	平地(94m)
6	集落跡	蟹沢熊野堂	東根市蟹沢字熊野堂1565～1570	縄文 弥生	畑 宅地 水田	平地(95m)
7	城館跡	蟹沢楯	東根市蟹沢	室町	宅地	平地(90m)
8	集落跡	軍町	東根市長瀞字南方130	平安	水田 畑	平地(90m)
9	集落跡	南方	東根市長瀞字南方233	平安	水田	平地(90m)

北村山地区関係遺跡地名表

遺　跡　概　要	出土遺物	備　考	地図番号
明治38年太田政太氏発掘、現在新家屋の下になっている。範囲は不明。	蕨手刀	註1　No.710	2－1
小田島郵便局北側に位置する。範囲は東西30×南北30(m)。今回は現地踏査せず。	蕨手刀	註1　No.711	2－2
野田地内、明見神社北側の畑地に位置する。範囲は東西30×南北50(m)。		註1　No.709	2－3
常光寺付近一帯が範囲。最上郡より分置された。村上郡衛の比定地である。	須恵器(平安) 焼　米	註1　No.713	2－4
春日神社の北側に位置する。範囲は、東西100×南北100(m)。	縄文式土器(晩期)	註1　No.712	2－5
蟹沢東地内西端の三叉路付近に位置する。範囲は、東西100×南北200(m)以上。	縄文式土器(晩期) 弥生式土器(棚倉) 骨角器	註1　No.714	2－6
空濠が4重めぐる居館跡。最上直家の五男兼直が築城したといわれ、後に天文19年阿部氏が移封されたと云う。		註1　No.715	2－7
長瀞地内、県道今野・山形線の西側に位置する。範囲は、東西100×南北50(m)。	土師器(平安) 須恵器	註1　No.720	3－8
長瀞地内、県道東根・河北線十字路の西南約100mにある。範囲は東西100×南北100(m)以上。	土師器(平安) 木　棺	註1　No.719	3－9

遺跡番号	種　別	遺跡名	所　在　地	時　期	地目	立　地
10	城館跡	長瀞本楯	東根市長瀞字本楯	不　明	墓地	平　地 (80m)
11	集落跡	月　山　堂	東根市長瀞字月山堂	平　安	水田	平　地 (85m)
12	城　跡	長瀞城跡	東根市長瀞字楯ノ内	室　町	宅地	平　地 (90m)
13	集落跡	扇　　田	東根市長瀞字北方1142～1148	弥　生 古　墳	水田	平　地 (85m)
14	集落跡	北　　方	東根市長瀞字北方	平　安	水田	平　地 (84m)
15	集落跡	八　　反	東根市長瀞字八反	平　安	水田 畑	平　地 (80m)
16	石造物	後原(板碑)	村山市名取字後原	中　世	林	段　丘 (88m)
17	墳　墓	後原(墳墓)	村山市名取字後原3311の3他	中　世	林	段　丘 (88m)
18	集落跡	後　　原	村山市名取字後原	縄　文 平　安	畑	段　丘 (88m)
19	散布地	西　原　A	村山市名取字後原	縄　文	畑	丘　陵 (94m)

遺　跡　概　要	出土遺物	備　考	地図番号
長瀞地内西方約1.7km、最上川右岸に位置する。長瀞城の前身説あり。範囲は東西約109×南北約327(m)。		註1　No.722	3-10
長瀞地内西方約1kmにあり、範囲は不明。今回は、現地踏査せず。		註1　No.724	3-11
堀が現存する。応永12年(1636年)最上満家楯主、江戸時代陣屋となる。		註1　No.721	3-12
長瀞地内北西方向にある。範囲は、東西100×南北100(m)。遺物包含層が深く、遺存状況が良好である。	弥生式土器 土師器(古墳)	註1　No.725	3-13
長瀞地内北方にあり、No.13と隣接する。範囲は不明。今回は、現地踏査せず。	赤焼土器(平安) 須恵器	註1　No.726	3-14
長瀞地内北方約1.5km、最上川右岸に位置する。範囲は、東西50×南北200(m)以上。今回は、現地踏査せず。		註1　No.723	3-15
凝灰岩を用い、高さ1m30cm・幅55cmを測る。碑面は無数に削り取られ、銘は不明、方形の土壇上に立置する。			4-16
直径約15m・高さ約1mの円墳で、東側は農道によって切られている。付近より須恵器破片を検出。		新規発見	4-17
最上川右岸に位置し、範囲は東西200×南北400(m)。No.16・17の遺跡もこの中に含まれる。	縄文式土器・磨斧 土師器(平安) 須恵器	新規発見	4-18
No.18の東方約200m、農道の南側にあり、丘陵按部の畑地に立置する。範囲は不明。	縄文式土器	新規発見	4-19

遺跡番号	種別	遺跡名	所在地	時期	地目	立地
20	集落跡	西原B	村山市名取字西原2931－1他	平安	畑	丘陵(95m)
21	集落跡	西原C	村山市名取字西原他	縄文 平安	畑	丘陵(95m)
22	集落跡	草伊賀B	村山市名取字草伊賀3330－15他	平安	畑	丘陵(97m)
23	散布地	蟬田	村山市名取字蟬田943他	平安	畑	平地(85m)
24	集落跡	川口B	村山市大槙字川口	縄文	畑	段丘(88m)
25	集落跡	鹿の子沢C	村山市大字鹿の子沢	縄文	畑 水田	平地(90m)
26	集落跡	船橋	村山市大槙字船橋	縄文	畑	段丘(88m)
27	集落跡	袋	村山市大槙字小袋	縄文	畑	段丘(89m)
28	集落跡	川口A	村山市大槙字川口	縄文 奈良	畑	平地(84m)
29	集落跡	鹿の子沢B	村山市大槙字鹿の子沢	平安	畑	段丘(90m)

遺　跡　概　要	出土遺物	備　考	地図番号
丘陵の南斜面にあり、範囲は東西100×南北100(m)。	須恵器(平安)	新規発見	4-20
河島山北側にのびる丘陵の東斜面に立置する。範囲は、東西150×南北400(m)。	縄文式土器 土師器(平安) 須恵器	新規発見	4-21
道六地内西方約400mの丘陵東斜面にある。範囲は、東西150×南北400(m)。	土師器(平安) 須恵器	新規発見	4-22
西郷小学校東方約150m、蟬田川右岸に立置する。範囲は、不明。	土師器(平安) 須恵器	新規発見	4-23
驚滝地内東方約200m、最上川左岸に立置する。		註1　No.600	4-24
驚滝から船橋部落に通ずるT字路の北側に位置する。範囲は、不明。		註1　No.603	4-25
段丘縁辺部の緩斜面に、遺物が散布する。No.27とは按部を狭んで隣接する。範囲は、東西150×南北150(m)。	縄文式土器 スクレーパー	新規発見	4-26
共栄地内の東南端、段丘縁辺部に位置する。範囲は、東西100×南北200(m)。遺物は、畑地造成崖面より採集。	縄文式土器	註1　No.596	4-27
No.27東方約100mに位置し、段丘下水田地帯の高まりにある。範囲は、東西100×南北250(m)。	石　篦 フレーク	註1　No.599	4-28
白山神社の北側が遺跡である。範囲は、東西100×南北100(m)。今回は、現地踏査せず。		註1　No.602	4-29

遺跡番号	種別	遺跡名	所在地	時期	地目	立地
30	集落跡	棚子	村山市大槙字棚子	縄文 平安	畑	平地 (81m)
31	集落跡	鹿の子沢A	村山市大槙字鹿の子沢1004	縄文	畑 水田	段丘 (83m)
32	集落跡	小国沢	村山市白鳥字小国沢3067	縄文 奈良	畑	段丘 (95m)
33	集落跡	小坂	村山市長島字小坂564	縄文	畑	台地 (105m)
34	集落跡	里向山	村山市富並字向山4290の11	縄文 弥生	山林	台地 (135 m)
35	集落跡	深沢向山	村山市富並字向山4528の7～12	縄文	畑	台地 (135m)
36	城館跡	富並楯 (鬼甲城)	村山市富並字楯山	室町	山林	丘陵 (187m)
37	集落跡	里向山B	村山市富並字向山	縄文	畑	山麓 (85m)
38	散布地	里向山C	村山市富並字向山	縄文	畑	段丘 (82m)
39	散布地	里向山D	村山市富並字向山	縄文	畑	段丘 (80m)

遺　跡　概　要	備　考	地図番号	
№29の東方約200mに位置し、水田地帯の高まりにある。範囲は、東西100×南北350(m)。	フレーク 土師器(平安) 須恵器	註1　№598	4-30
みかの瀬橋東方約600mの最上川左岸にあり、やや起伏を有する畑に位置する 範囲は、東西30×南北50(m)。	縄文式土器(中期) フレーク	註1　№601	5-31
みかの瀬橋西方約200mの最上川左岸に位置する。範囲は、不明。今回は、現地踏査せず。	縄文式土器(早期) (前期) 須恵器(奈良)	註1　№610	5-32
長島橋東方約900m、最上川右岸、羽黒山の西麓に位置する。範囲は、東西100×南北150(m)。	縄文式土器 (大木9)	註1　№623	5-33
長島橋北東約600mの山林にある。範囲は、東西20×南北15(m)。今回は、遺物採集できず。	縄文式土器(大木7)弥生式土器(天王山)環状石斧	註1　№613	5-34
長島橋北方約800mにあり、主要地方道尾花沢・寒河江線沿いに位置する。範囲は、東西30×南北20(m)。	縄文式土器 (大木8)	註1　№612	5-35
長島橋北東約900m、最上川左岸に位置する。範囲は、東西約42×南北約40(m)。伝説の多い山城である。		註1　№618	5-36
№36の南麓に位置する。範囲は、東西30×南北100(m)。耕作により包含層上面が、大部削平されている。	石匙破片	新規発見	5-37
長島橋東方約900m、最上川左岸に位置する。範囲は、不明。	フレーク	新規発見	5-38
富並川右岸にあり、遺跡の南方約200mは、最上川との合流地点である。範囲は、不明。	フレーク	新規発見	5-39

遺跡番号	種　別	遺跡名	所　在　地	時　期	地目	立　地
40	集落跡	川　口	村山市富並字川口3019の2	縄　文	畑 宅地	段　丘 (75m)
41	集落跡	早　房　A	村山市富並字小滝	縄　文	畑	段　丘 (80m)
42	集落跡	早　房　B	村山市富並字小滝	縄　文	畑	段　丘 (80m)
43	集落跡	早　房　C	村山市富並字小滝	縄　文	畑	段　丘 (85m)
44	集落跡	早　房　D	村山市富並字小滝	縄　文 弥　生	畑	段　丘 (85m)
45	集落跡	小　滝　A	村山市富並字小滝	縄　文	畑	段　丘 (95m)
46	集落跡	小　滝　B	村山市富並字小滝	縄　文	畑	段　丘 (95m)
47	散布地	小　滝　C	村山市富並字小滝	縄　文	畑	段　丘 (90m)
48	集落跡	境　ノ　目	村山市境ノ目4585	縄　文	畑	段　丘 (85m)
49	集落跡	西　山　A	村山市田沢字西山	縄　文	畑	丘　陵 (110m)

遺　跡　概　要	出土遺物	備　考	地図番号
富並川と最上川との合流地点左岸に位置する。範囲は、東西100×南北150(m)。	縄文式土器(後期) フレーク	註1　№616	5-40
最上川左岸、すぐ下は早房の瀬である。範囲は、東西100×南北100(m)。	縄文式土器(中期) 石篦・フレーク	新規発見	5-41
最上川左岸、№26とは沢を狭んで隣接する。範囲は、東西100×南北100(m)。	縄文式土器 石　篦	新規発見	5-42
最上川左岸、小さな谷を狭んで№42と隣接する。範囲は、東西100×南北80(m)。	縄文式土器(中期) フレーク	新規発見	5-43
小滝地内南西方向400m、舌状地形の先端部に遺物を散布する。範囲は、東西50×南北100(m)。	縄文式土器(前・中期)フレーク 弥生式土器(後期)	新規発見	5-44
小滝地内天満宮北側の畑地に位置する。範囲は、東西200×南北300(m)。	縄文式土器 (大木8b) フレーク	新規発見	6-45
小按部を狭んで№45の北側に位置する。東西150×南北200(m)。	縄文式土器(中期) フレーク	新規発見	6-46
昭和橋南西300m、最上川左岸に位置する。範囲は不明。	縄文式土器	新規発見	6-47
昭和橋北側50m、最上川左岸に位置する。範囲は、東西150×南北150(m)。	縄文式土器 (大木8)(大洞C) フレーク	註1　№622	6-48
昭和橋西方500mのなだらかな丘陵地帯の縁辺部に位置する。範囲は、東西50×南北50(m)。	縄文式土器	新規発見	6-49

遺跡番号	種　別	遺跡名	所　在　地	時　期	地目	立　地
50	散布地	西　山　B	村山市田沢字西山	縄　文	畑	丘　陵 (95m)
51	集落跡	西　山　C	村山市田沢字西山	縄　文	畑	丘　陵 (105m)
52	集落跡	長峯山 B	大石田町田沢	縄　文	畑	丘　陵 (85m)
53	集落跡	長峯山 A	大石田町田沢	縄　文	畑	丘　陵 (100m)
54	集落跡	羽根沢 C	大石田町田沢	縄　文 平　安	畑	丘　陵 (90m)
55	集落跡	羽根沢 B	大石田町田沢	縄　文	畑	丘　陵 (95m)
56	集落跡	新山寺 A	大石田町新山寺	縄　文	畑	段　丘 (80m)
57	集落跡	新山寺 B	大石田町新山寺	縄　文	畑	段　丘 (80m)
58	集落跡	羽根沢 A	大石田町田沢	縄　文	畑	丘　陵 (90m)
59	集落跡	小　　林	大石田町田沢字小林2024	縄　文 平　安	畑	丘　陵 (80m)

遺　跡　概　要	出土遺物	備　考	地図番号
№49北方200mの緩斜面に、遺物が散布する。範囲は、不明。	縄文式土器	新規発見	6 -50
№50の北西250mにあり、遺跡の東側は溜め池になっている。範囲は、東西100×南北150(m)。	縄文式土器(前期)	新規発見	6 -51
長峯山の東・南側に遺物が散布する。範囲は、東西150×南北150(m)。	縄文式土器(中期) フレーク	註1　№852	6 -52
新山寺西方約700m、長峯山西麓に位置する。範囲は、不明。今回は、現地踏査せず。	縄文式土器(中期)	註1　№851	6 -53
新堤の北側丘陵に位置する。範囲は、不明。今回は、現地踏査せず。	縄文式土器(大木4)　石槍須恵器(平安)	註1　№855	7 -54
№54の東側に隣接する。範囲は、東西100×南北100(m)。	縄文式土器(大木8b)．(大木9)フレーク	註1　№854	7 -55
最上川左岸、新山寺公民館前道路の西側の畑に位置する。範囲は、東西50×南北80(m)。	縄文式土器 (大木5) フレーク	新規発見	6 -56
新山寺公民館の北及び南側の畑に位置する。範囲は、東西80×南北150(m)。	縄文式土器(中期)	新規発見	6 -57
田沢小学校南方約250mに位置し、№55の北側丘陵斜面に遺物が散布する。範囲は、東西200×南北150(m)。	縄文式土器	新規発見	7 -58
田沢地内の北部、舌状に張り出す丘陵に位置する。範囲は、東西300×南北350(m)。	土師器(平安)	註1　№861	7 -59

遺跡番号	種別	遺跡名	所在地	時期	地目	立地
60	城館跡 集落跡	横山楯	大石田町横山字塩ノ沢	縄文 室町	畑 山林	丘陵 (85m)
61	集落跡	横山	大石田町横山	平安	畑	段丘 (70m)
62	集落跡	川前	大石田町亀井田字川前	縄文	畑	段丘 (75m)
63	集落跡	駒籠向	大石田町亀井田字川前	縄文	畑 山林	段丘 (70m)
64	城館跡 集落跡	楯の鼻	大石田町駒籠227の1	縄文 室町	畑 宅地	段丘 (65m)
65	集落跡	駒籠A	大石田町駒籠	縄文	畑	段丘 (110m)
66	集落跡	駒籠B	大石田町駒籠	縄文 弥生	畑	段丘 (102m)
67	集落跡	駒籠C	大石田町駒籠	縄文	畑	段丘 (82m)
68	集落跡	三光坊	大石田町駒籠字上の原	縄文	水田	段丘 (96m)
69	城館跡	芦沢楯 (毛倉楯)	尾花沢市芦沢(毛倉山)	室町	山林	丘陵 (77m)

遺　跡　概　要	出土遺物	備　考	地図番号
里地内北方約600mの丘陵を利用している。空濠、土塁、門跡を残す。範囲は、東西120×南北250(m)。	縄文式土器(前期) (中期)	註1　No.816	7-60
No.60北方500m、水田地帯の高まりに位置する。範囲は、不明。今回は、現地踏査せず。	須恵器(平安)	註1　No.817	7-61
川前地内北部、県道の両側に位置する。範囲は、東西100×南北200(m)。	縄文式土器(中期) (後期)	註1　No.832	8-62
駒籠の川向、県道がカーブする西側に位置する。範囲は、東西50×南北120(m)。今回は、現地踏査せず。	縄文式土器 (掘之内) 石棒	註1　No.835	8-63
最上川と野尻川合流地点右岸に位置する。土塁・空濠が、現存する。範囲は、東西300×南北250(m)。	縄文式土器(晩期) 石鏃・フレーク 中世陶器	註1　No.839	8-64
駒籠地内北方約500mの高台にある。範囲は、東西50×南北100(m)。	縄文式土器	新規発見	9-65
谷を狭んでNo.65の東側に隣接し、やや起伏をもつ地形に立置する。範囲は、東西200×南北100(m)。	縄文式土器(前期) 石槍・フレーク 弥生式土器(後期)	新規発見	9-66
駒籠から鷹巣へ至る農道の南側、水田より一段高い畑に散布する。範囲は、東西100×南北100(m)。	縄文式土器	新規発見	9-67
最上川右岸、白鷺地内対岸に位置する。範囲は、東西80×南北50(m)。近年の圃場整備により水田化なる。	縄文式土器(前期) 石匙・石鏃	註1　No.840	9-68
最上川右岸に位置する。土塁・空濠が残存する 芦沢織部の居館跡といわれ、範囲は、東西200×南北100(m)。		註1　No.734	9-69

遺跡番号	種別	遺跡名	所在地	時期	地目	立地
70	集落跡	野尻A	尾花沢市寺内字野尻	縄文	畑	段丘(102m)
71	城館跡 集落跡	野尻楯	尾花沢市寺内字野尻	縄文	畑	段丘(97m)
72	散布地	野尻B	尾花沢市寺内字野尻	縄文	畑	段丘(97m)
73	集落跡	きつね清水	尾花沢市和合字森	縄文	林	段丘(100m)
74	集落跡	森岡	尾花沢市牛房野字森岡	縄文	畑	段丘(105m)
75	集落跡	森岡北	尾花沢市牛房野字森岡	縄文	畑	段丘(110m)
76	集落跡	安久戸平	尾花沢市安久戸字平	縄文	畑	段丘(105m)
77	城館跡	森岡山	尾花沢市安久戸字森岡山	不明	山林	山頂(160m)
78	不明	田沢	尾花沢市	不明	畑	段丘(115m)
79	不明	安久戸D	尾花沢市安久戸	不明	畑	丘陵(120m)

遺　跡　概　要	出土遺物	備　考	地図番号
野黒沢より西原・寺内へ至る三叉路の南側、谷を狭んでNo.71の北側に位置する 範囲は東西100×南北400(m) °	縄文式土器(前期) (中期) スクレーパー	新規発見	10-70
野尻川右岸に張り出す舌状地形に位置する。空濠・土塁を現存する。範囲は、東西 100×南北 100(m)。	縄文式土器(中期) フレイク・凹石 古銭・中世陶器	註1　No.731	10-71
No.71の北東約300mに位置する。範囲は不明。	フレイク	新規発見	10-72
和合地内、田沢へ至る道路の西側に位置する。範囲は不明。	石鏃・石匙	註1　No.739	11-73
和合地内北部、道路の両側に位置する。範囲は、東西100×南北100(m)。	縄文式土器(前期)	註1　No.742	11-74
森岡山西部、牛房野川右岸に位置する。範囲は、東西50×南北100(m)。	フレイク	註1　No.2332	11-75
森岡山南部、牛房野川左岸、安久戸橋東方約50mに位置する。範囲は、東西300×南北300(m)。	縄文式土器 (大木1)(大洞B) 石篦・凹石	註1　No.740	11-76
牛房野川左岸、安久戸地内西端に位置する。山頂に2段の空濠を有する。範囲は、東西30×南北40(m)。		註1　No.741	11-77
森岡山北方約400mに位置する。範囲は不明。今回は現地踏査せず。		註1　No.2333	11-78
森岡山北東約700mに位置する。範囲は不明。今回は現地踏査せず。		註1　No.2336	11-79

遺跡番号	種別	遺跡名	所在地	時期	地目	立地
80	不明	安久戸B	尾花沢市安久戸	不明	畑	丘陵(110m)
81	不明	安久戸C	尾花沢市安久戸	不明	畑	平地(109 m)
82	散布地	安久戸A′	尾花沢市安久戸	縄文	畑	段丘(108m)
83	不明	安久戸A	尾花沢市安久戸	不明	畑	段丘(104m)
84	集落跡	志田	尾花沢市丹生字安久戸	縄文	畑	段丘(108m)
85	散布地	志田B	尾花沢市丹生字安久戸	縄文	畑	山麓(119m)
86	城館跡	西原	尾花沢市丹生字安久戸	平安	畑	平地(109m)
87	石造物	原	尾花沢市原	室町	林	段丘(139m)
88	城館跡	北郷	尾花沢市下原	不明	畑 水田	段丘(139 m)

遺　跡　概　要	出土遺物	備　考	地図番号
森岡山北東にのびる丘陵斜面に位置する。範囲は不明。		註1　No.2334	11-80
森岡山東方約100mに位置する。範囲は不明。		註1　No.2335	11-81
安久戸橋東方約700m、道路北側に遺物を散布する。範囲は、東西150×南北150(m)。	フレイク	註1　No.2337	11-82
道路を狭んでNo.82の南側に位置する。範囲は不明。今回は現地踏査せず。		註1　No.2338	11-83
No.82の東方200m、T字路北側に位置する。範囲は、東西50×南北40(m)。		註1　No.759	11-84
No.86の北方約100mに位置する。範囲は不明。	フレイク	新規発見	11-85
森岡山東方1kmの道路北側に位置する。土塁・空濠が残存する。範囲は、東西180×南北180(m)。	土師器(平安) 須恵器 分銅型砥石	註1　No.760	11-86
丹生川左岸、萱刈畑橋南方300mの段丘縁辺部に立地する すぐ近くには、河原石を積んだ方形の土壇を有する。		新親発見	11-87
綱木川を狭んでNo.87の東側の舌状地形に立地する。範囲は、東西50×南北50(m)。今回は現地踏査せず。		註1　No.777	11-88

註1　山形県教育委員会「山形県遺跡地図」 昭和53年

Ⅲ　まとめ

調査の結果、合計88の遺跡が確認され、このうち31の遺跡が今回新規に発見された。時期別では、縄文時代55.8%、弥生時代4.8%、古墳時代1%、歴史時代22.1%、中世9.6%、不明7.7%と、縄文の遺跡数が半数を占めている。地域別では、東根市から河島山北部丘陵地帯にかけて歴史時代の遺跡が多く、大槙以北にかけては縄文の方が多く分布する。

遺跡の立地環境は、①水田地帯、②河島山北部丘陵及び村山市西山から大石田町田沢にのびる丘陵地帯、③最上川・丹生川沿いの河岸段丘地帯の3つに大別される。①では水田のため踏査できない所もあり、未発見の遺跡も多いと思われる。②では畑地造成により堀り起こされた所が多く、「後原C」のように広範囲に遺物が散布するものも認められる。③では前後を沢等によって区切られた段丘縁辺部の場合、ほとんど遺跡の存在が確認され、「里向山」「早房D」、「駒籠B」の弥生の遺跡も確認された。

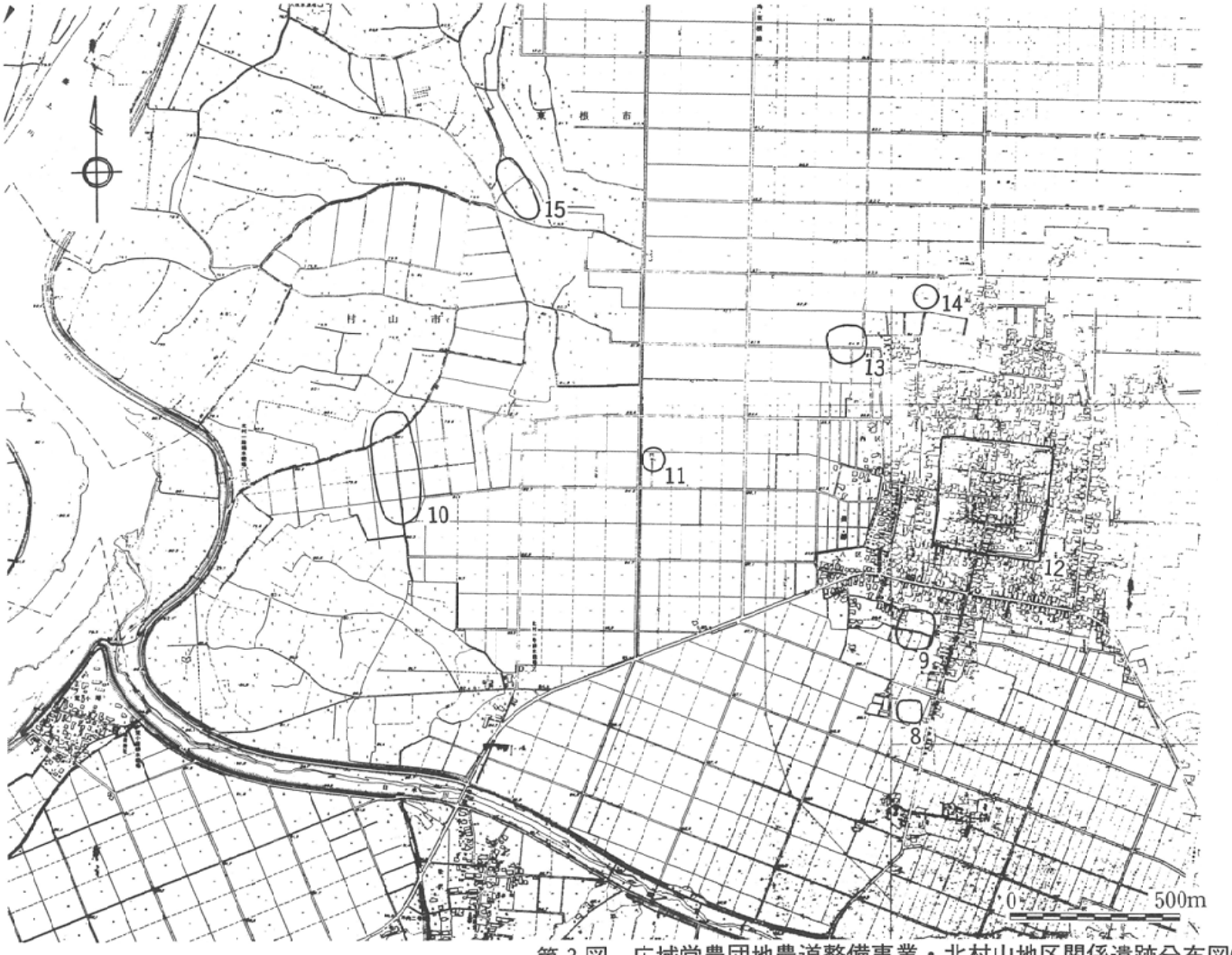
遺跡地名表では、範囲の不明なものを「散布地」として便宜的に分類したが、これら立地条件における遺跡性格の違いや、分布頻度等も今後検討を要する課題といえよう。

参　考　文　献

① 加藤　稔「尾花沢の自然と始源」『尾花沢市史の研究』　1960
② 佐藤信行「西・北村山地方弥生文化の一考察」『村山考古1』　1961
③ 佐藤信行「山形県村山地方の弥生式土器数例」『村山考古3』　1962
④ 瀬野利勝「東根市蟹沢熊野堂の装身具について」『村山考古4』　1962
⑤ 佐藤信行「村山市稲下遺跡発掘調査報告」『村山考古5』　1962
⑥ 渡辺　誠「山形県東根市蟹沢遺跡出土の石鏃」『立正考古21』　1962
⑦ 佐藤信行「蟹沢遺跡―山形北部に於ける縄文晩期終末の研究―」『村山考古7』　1963
⑧ 村山市教育委員会『村山市の土器と石器について』　1963
⑨ 佐藤信行「山形県村山地方における縄文前期土器の概観」『村山考古8』　1963
⑩ 村山市教育委員会『村山市の土器』村山市文化財叢書1　1968
⑪ 山形県『山形県史・考古資料』資料篇11　1969
⑫ 名著出版『北村山郡史』　1972
⑬ 中央書院『大石田町誌』　1973
⑭ 山形市県教育委員会『古墳から条里へ』　1973
⑮ 高橋富雄「堀の内遺跡発掘調査概報」『山形考古第2巻第2号』　1973
⑯ 山形大学教育学部歴史学研究会考古部会『山形県尾花沢盆地大石田地域遺跡分布調査報告概要』　1975
⑰ 山形県教育委員会『山形県遺跡地図』　1978

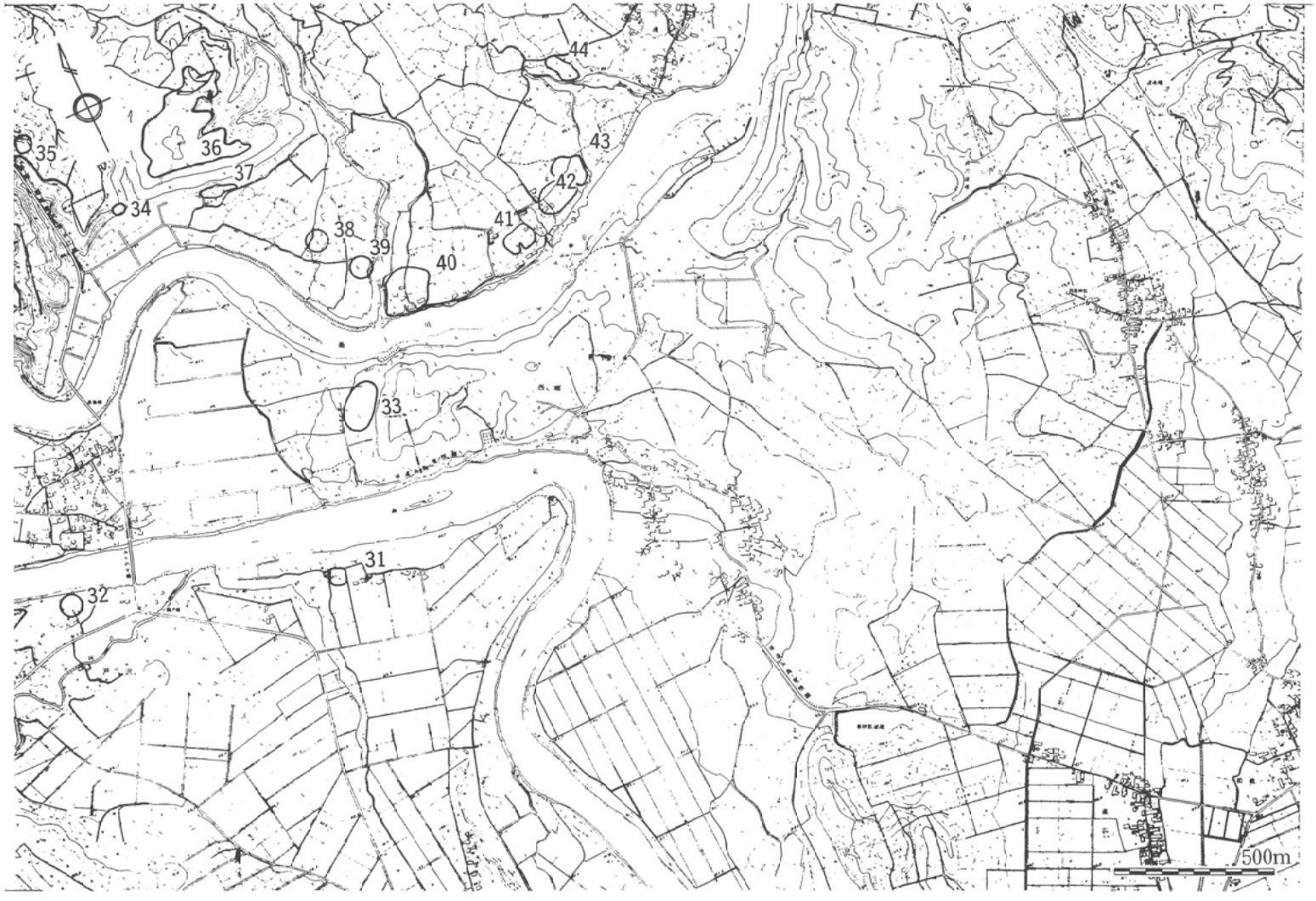
広域営農団地農道整備事業
北村山地区関係遺跡分布図

第２図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図(1)



第３図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図(2)

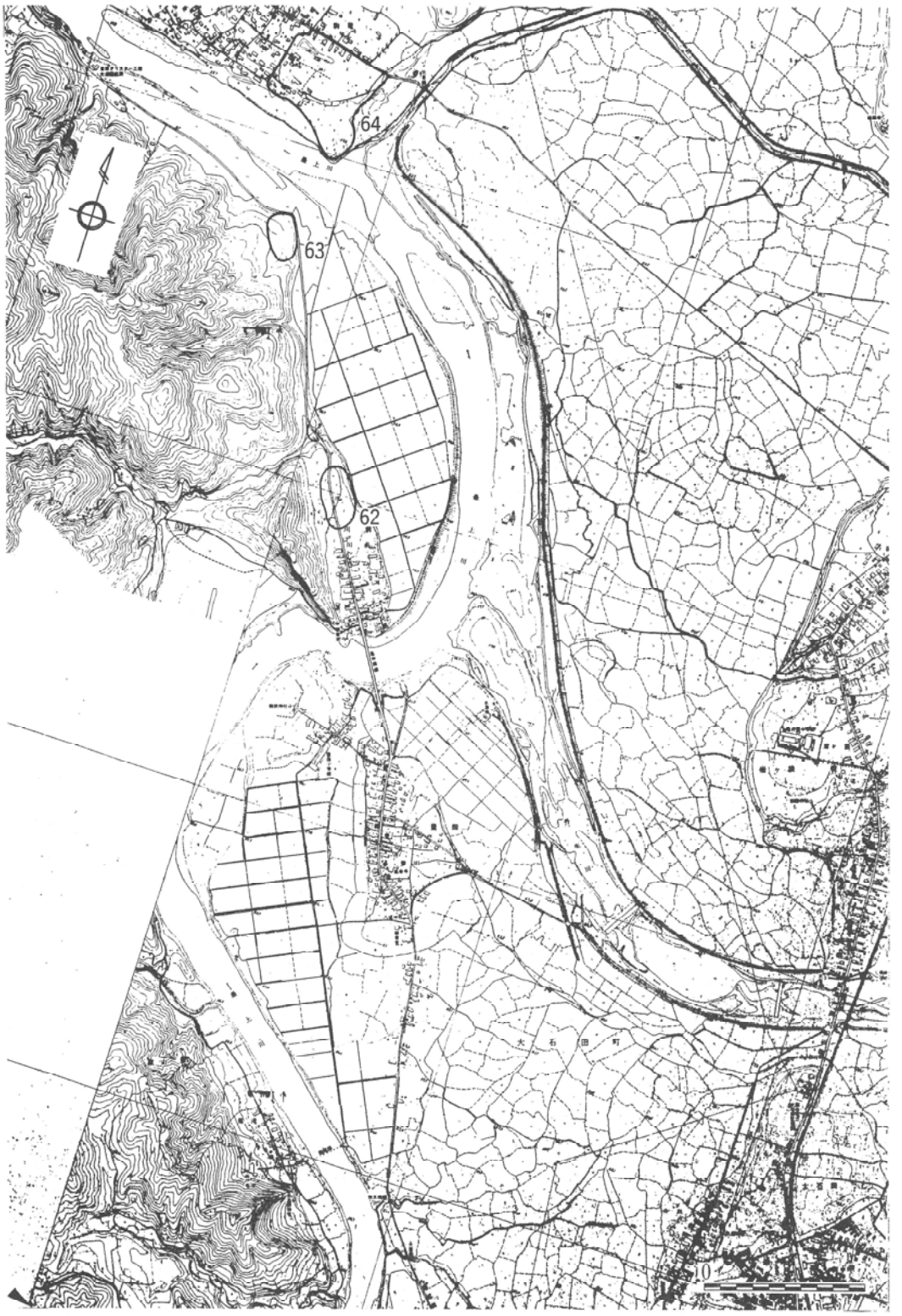
第４図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図(3)



第５図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図(4)

第６図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図(5)

第７図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図(6)



第８図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図(7)

第９図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図(8)

第 10 図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図(9)

第 11 図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図(10)

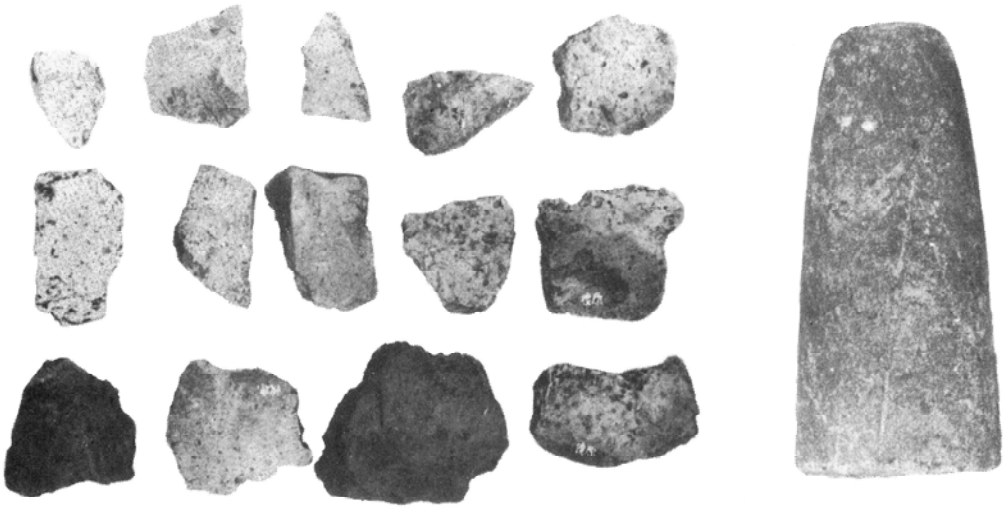
第 12 図　広域営農団地農道整備事業・北村山地区関係遺跡分布図（11）

図　　版

図版 1

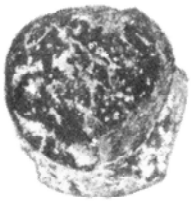
後原遺跡　（板碑）

後原遺跡　（墳墓）

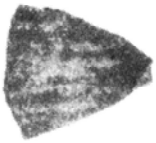


後原遺跡　出土遺物（1）

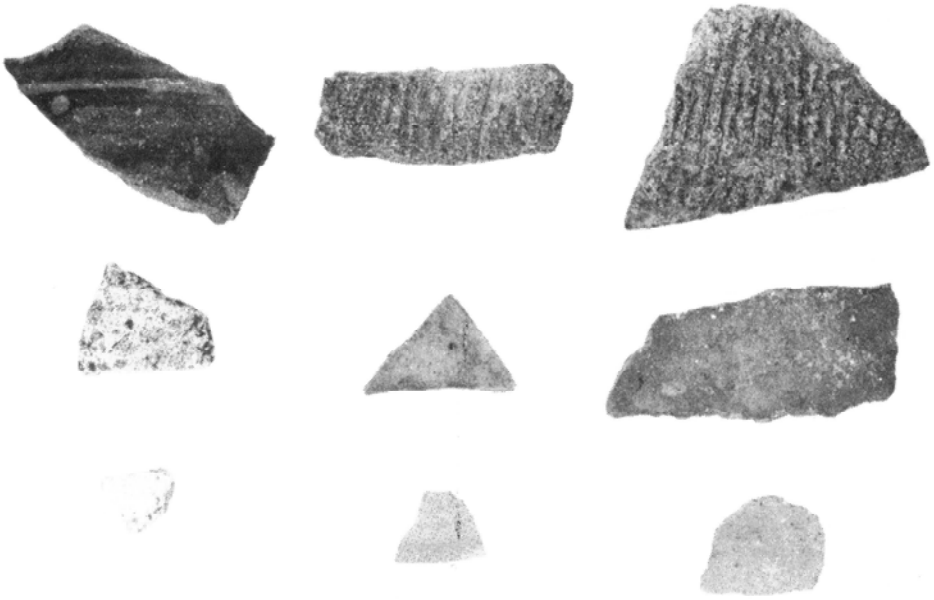
後原遺跡　出土遺物（2）



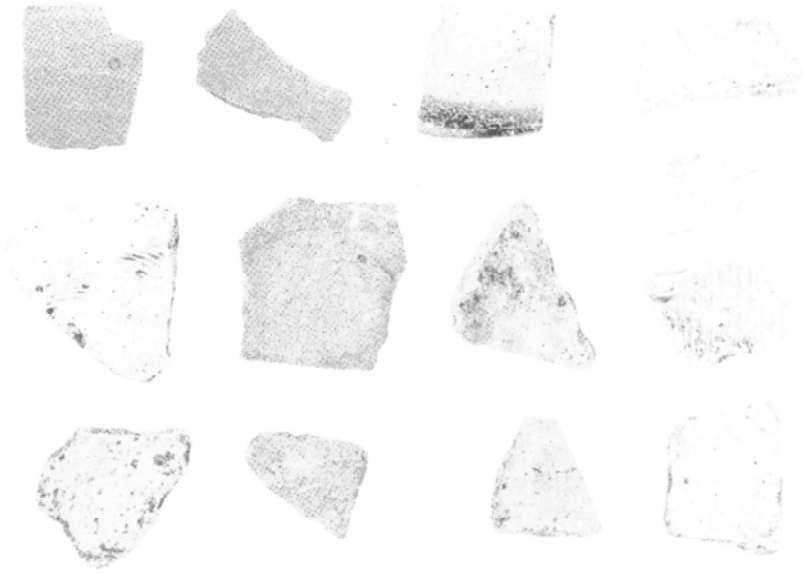
西原Ａ遺跡出土遺物



西原Ｂ遺跡出土遺物



草伊賀Ｂ遺跡出土遺物



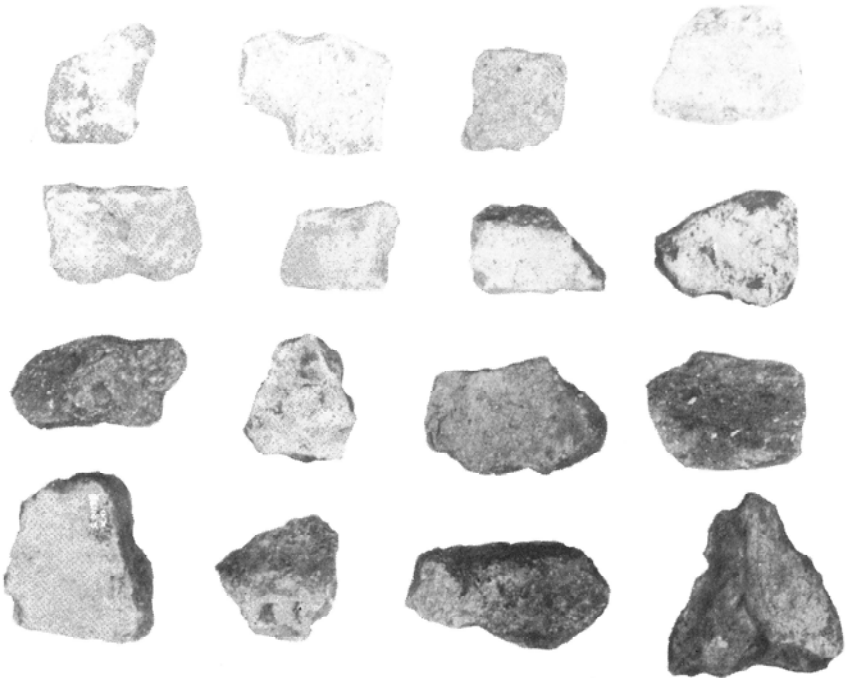
西原Ｃ遺跡出土遺物(1)

西原Ｃ遺跡出土遺物(2)

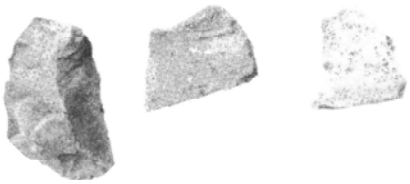
川口Ａ遺跡出土遺物

棚子遺跡出土遺物

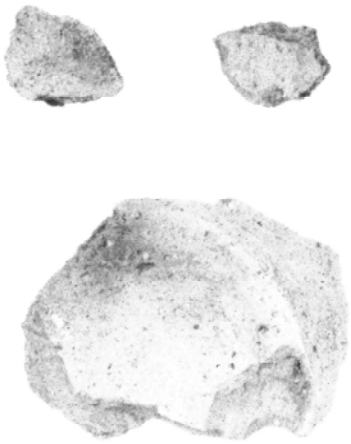
鹿の子沢Ａ遺跡近景



鹿の子沢Ａ遺跡出土遺物

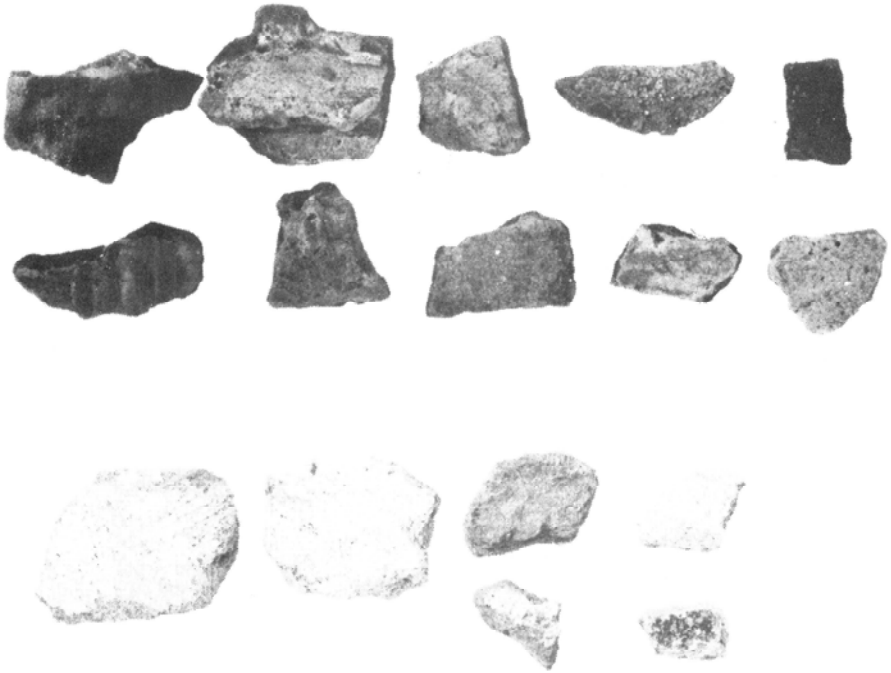


里向山Ｃ遺跡出土遺物



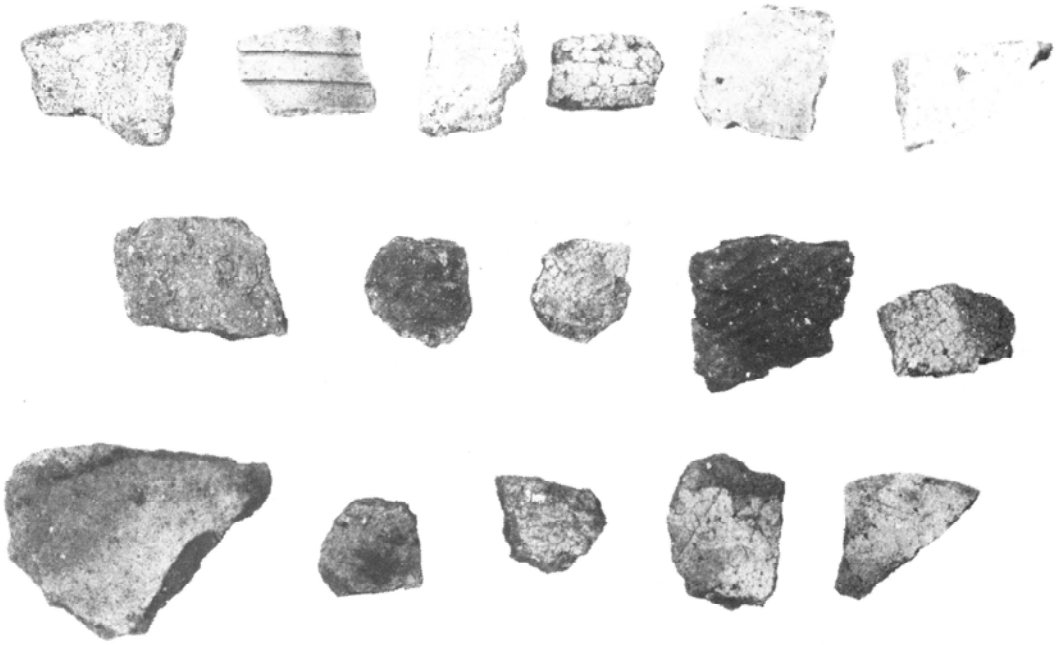
西山Ｃ遺跡出土遺物

早房Ｂ遺跡出土遺物



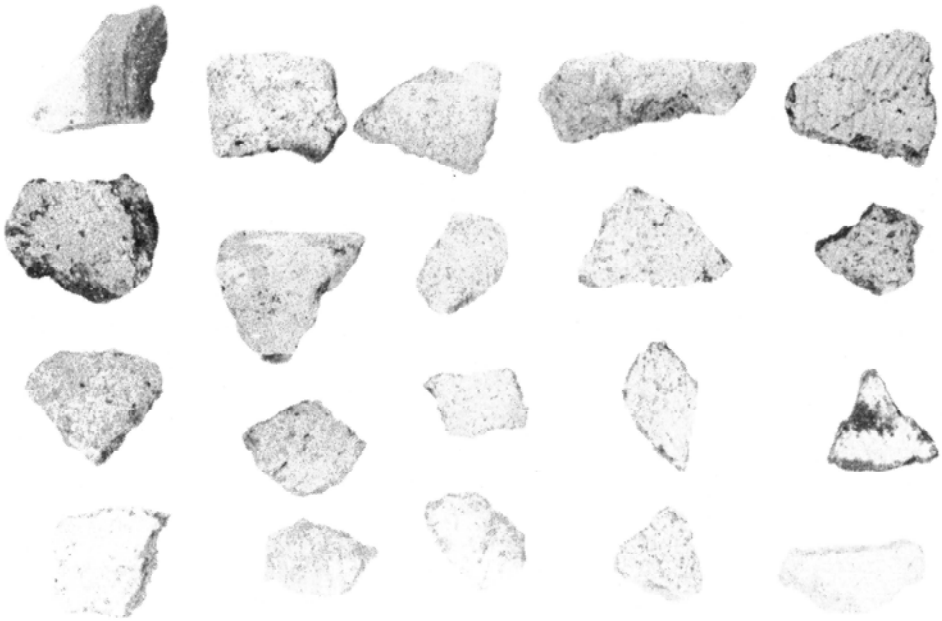
早房Ｃ遺跡出土遺物(1)

早房Ｃ遺跡出土遺物(2)

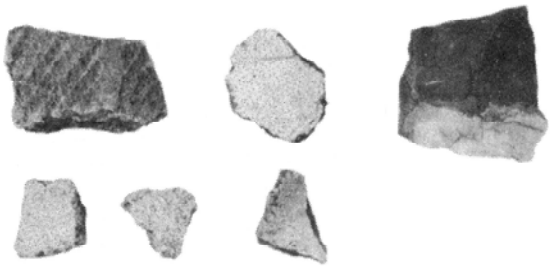


早房Ｄ遺跡出土遺物(1)

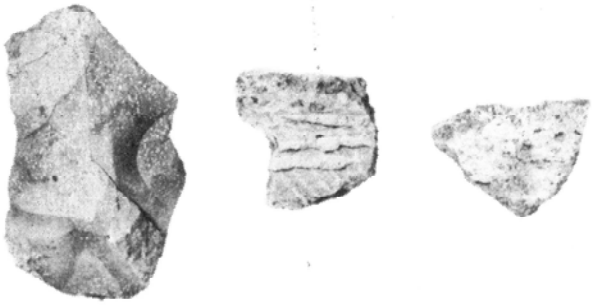
早房Ｄ遺跡出土遺物(2)



小滝Ａ遺跡出土遺物



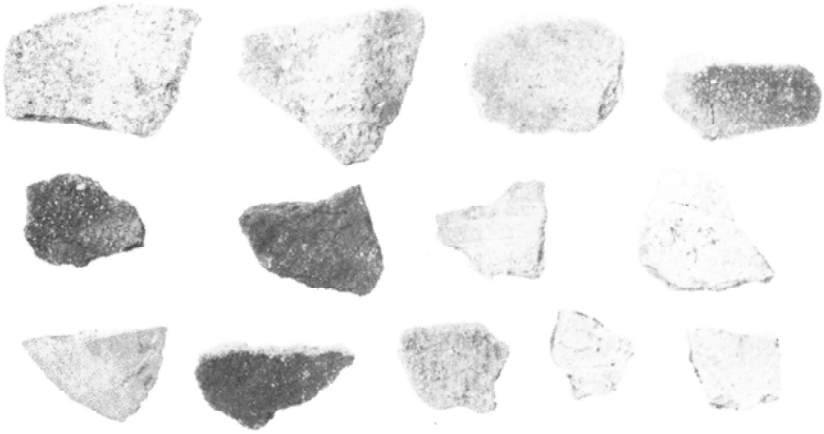
小滝Ｂ遺跡出土遺物



境ノ目遺跡出土遺物

新山寺 A 遺跡出土遺物

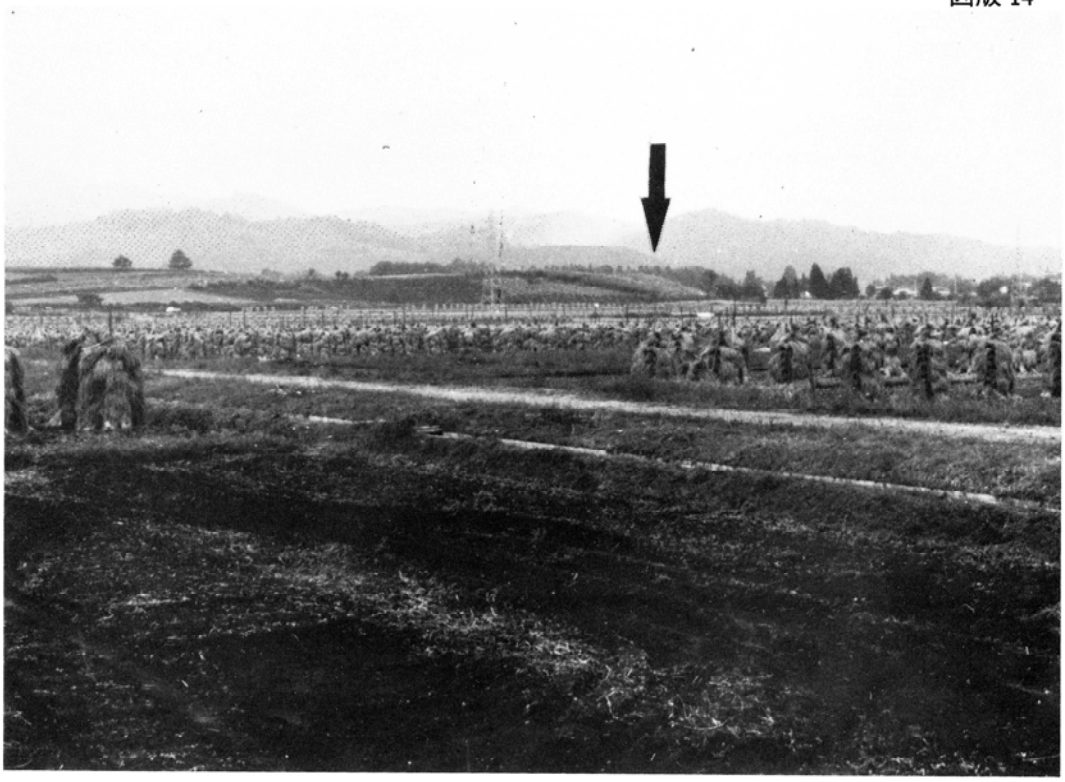
長峯山Ｂ遺跡近景



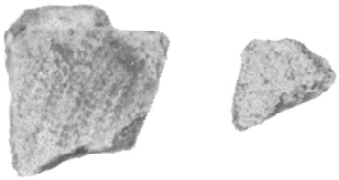
長峯山Ｂ遺跡出土遺物

羽根沢Ｂ遺跡遠景

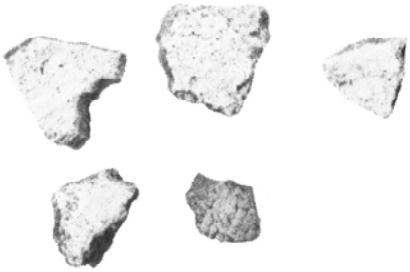
羽根沢Ｂ遺跡出土遺物



羽根沢Ａ遺跡遠景



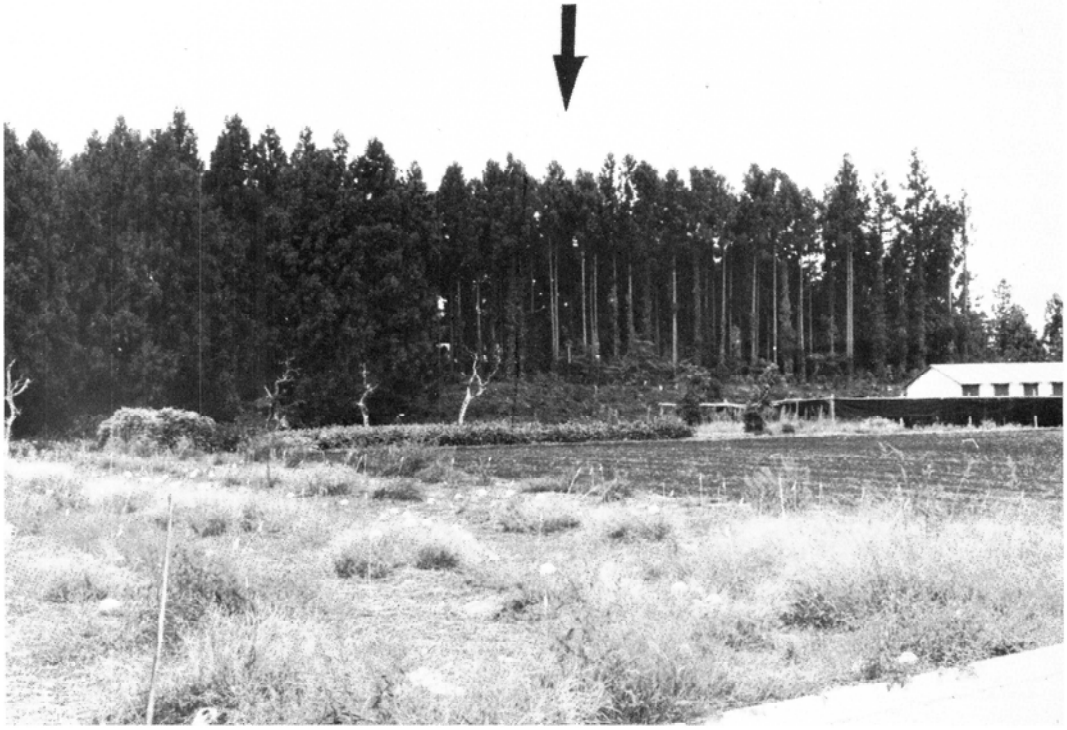
新山寺Ｂ遺跡出土遺物



羽根沢Ａ遺跡出土遺物

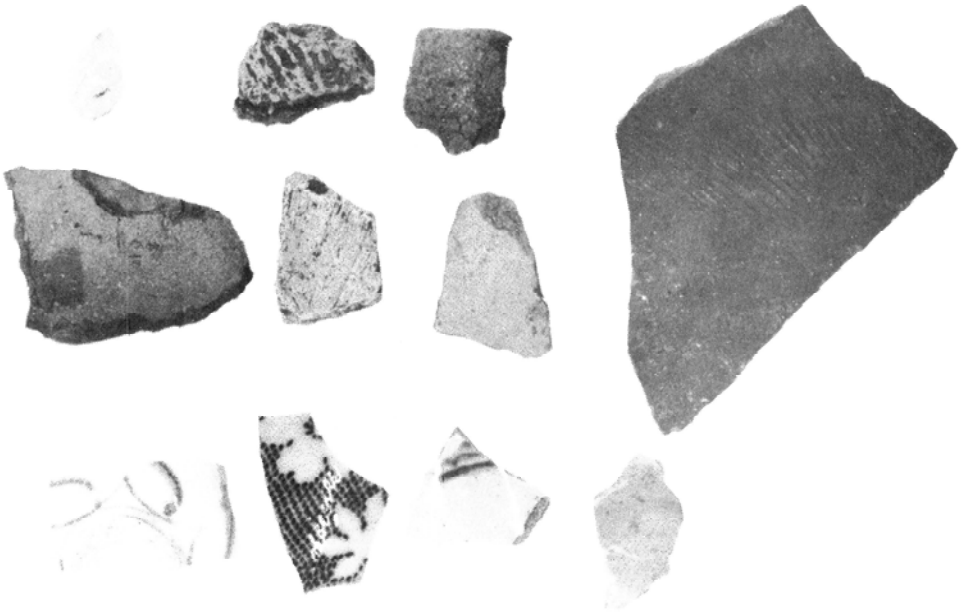
図版 15

楯の鼻楯跡遠景

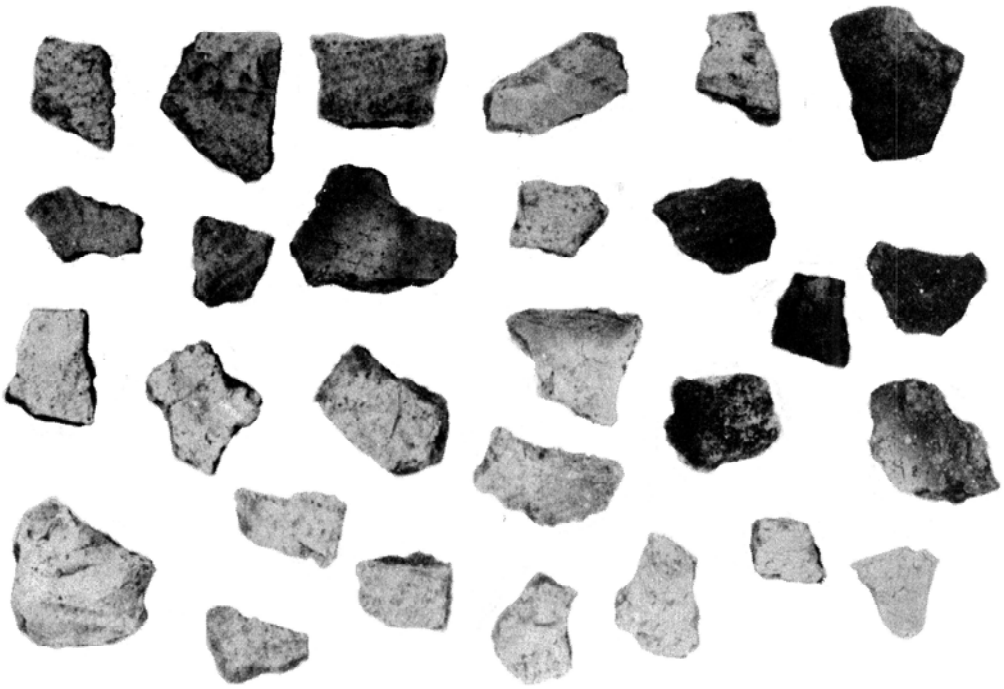


楯の鼻楯跡近景

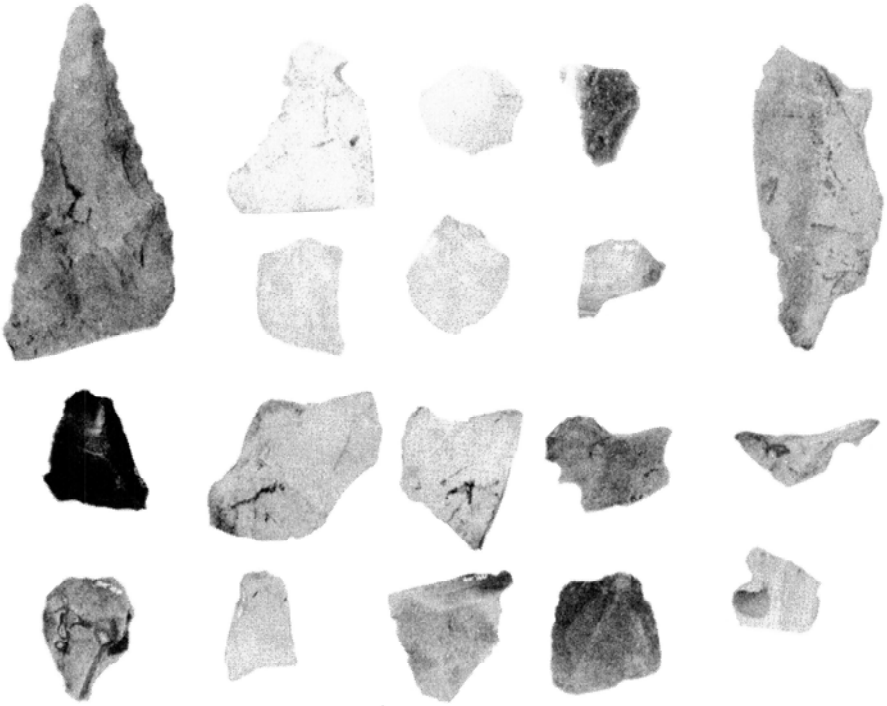
楯の鼻楯跡土塁



楯の鼻楯跡出土遺物



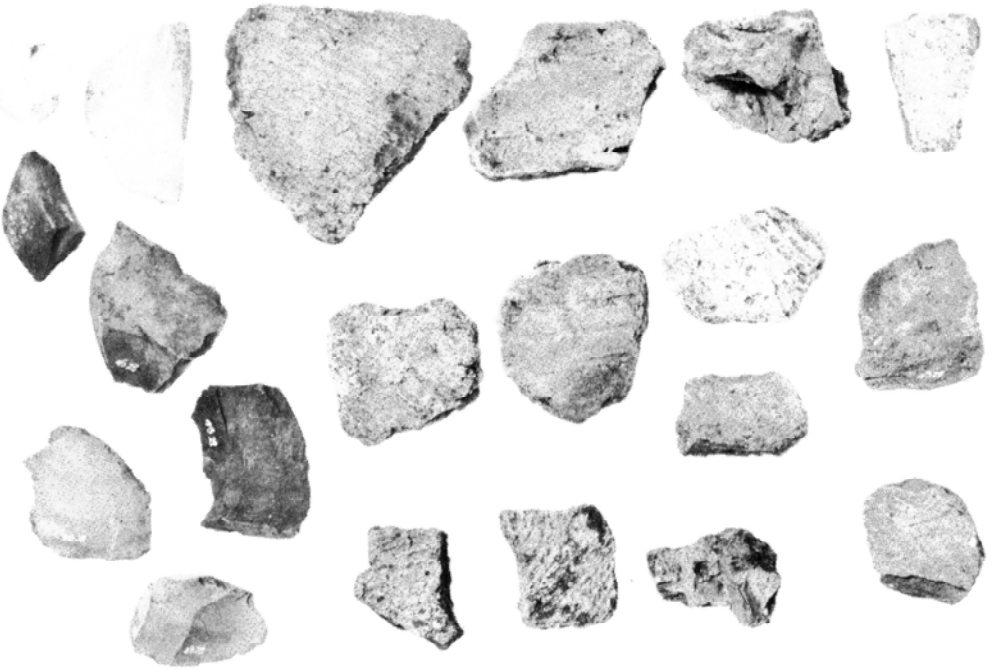
駒籠Ｂ遺跡出土遺物(1)



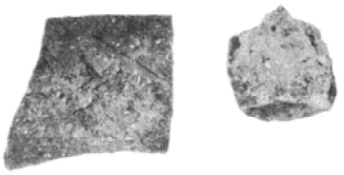
駒籠Ｂ遺跡出土遺物(2)

森岡北遺跡遠景

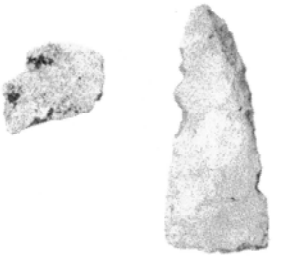
森岡北遺跡近景



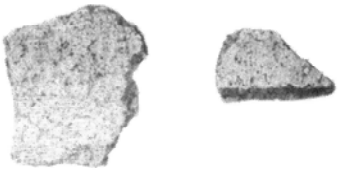
野尻Ａ遺跡出土遺物



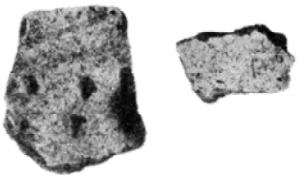
小林遺跡出土遺物



駒籠Ａ遺跡出土遺物

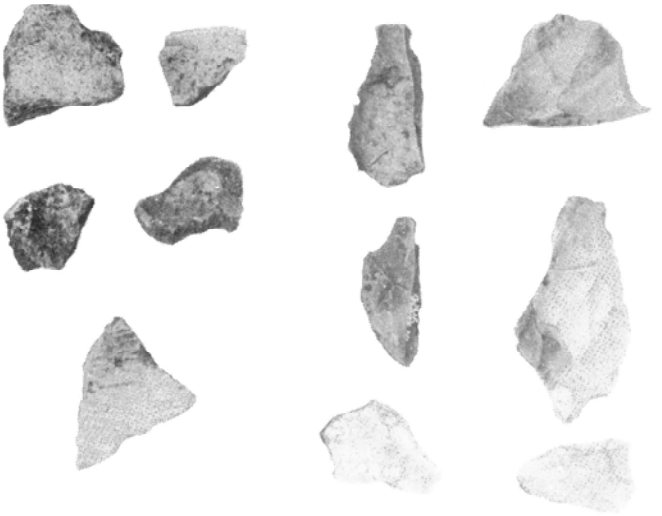


駒籠Ｃ遺跡出土遺物

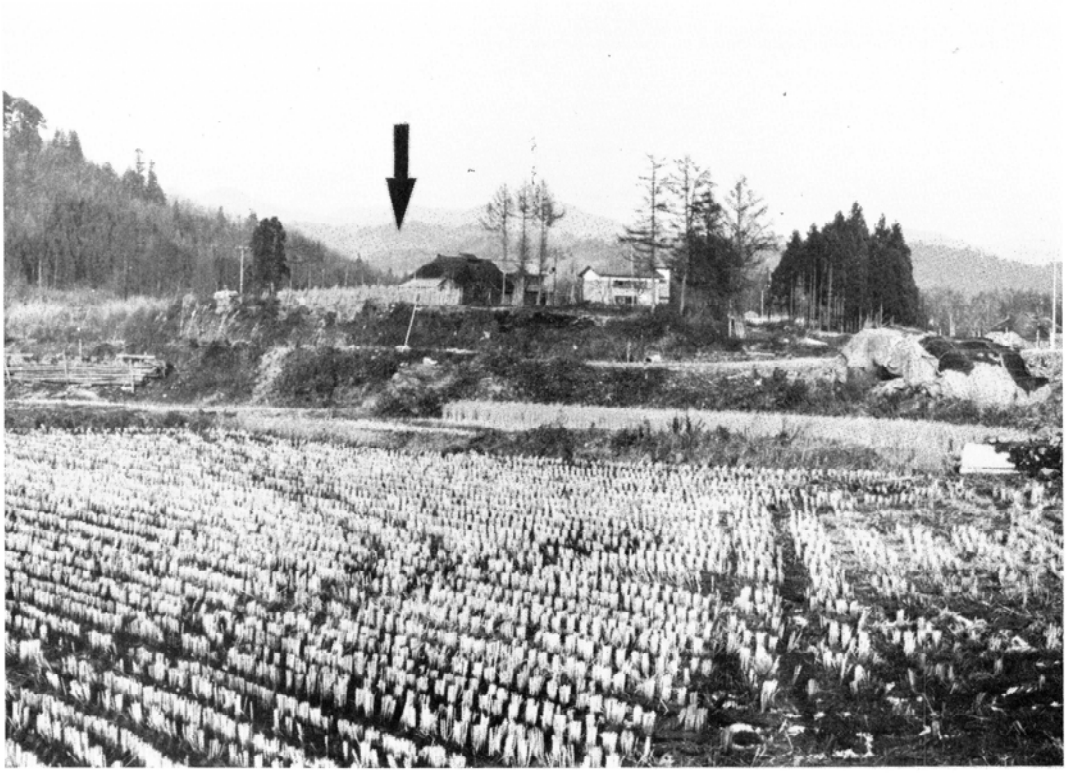


森岡北遺跡出土遺物

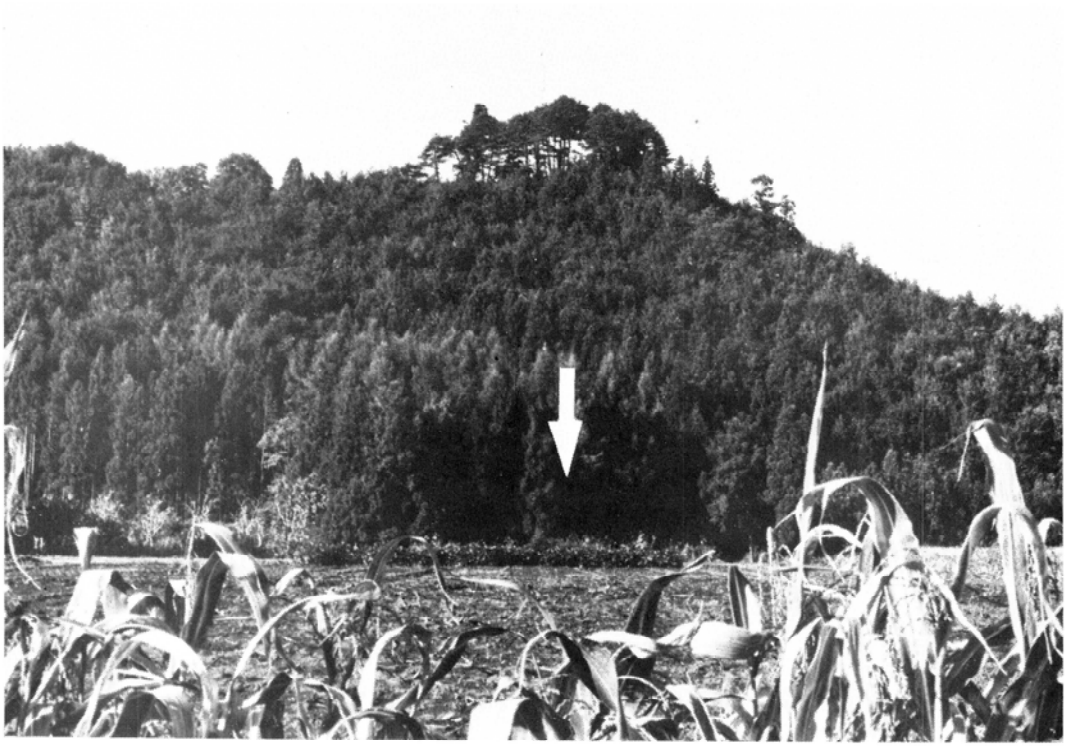
野尻楯遠景



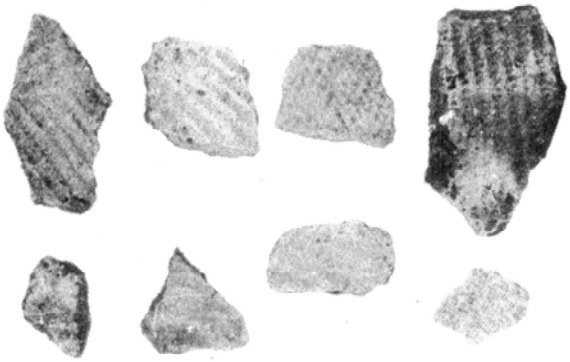
野尻楯出土遺物



安久戸平遺跡遠景

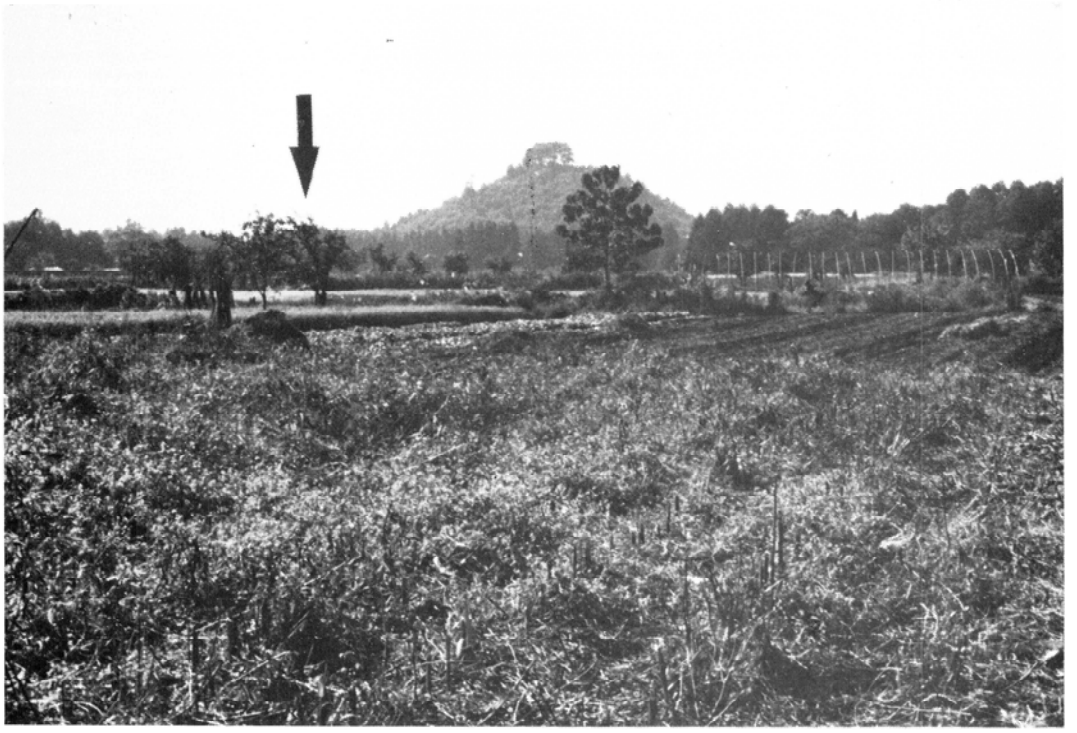


安久戸遺跡近景



安久戸平遺跡出土遺物(1)

安久戸平遺跡出土遺物(2)



西原遺跡遠景

西原遺跡空濠

原遺跡（土壇）

原遺跡（板碑）

山形県埋蔵文化財調査報告書第20集

分布調査報告書(7)

広域営農団地農道整備事業関係遺跡
———北村山地区———

昭和54年3月28日　印刷
昭和54年3月31日　発行

発行　山形県教育委員会
印刷　株式会社 大風印刷
山形市あこや町1-4-3　TEL31-5575(代)